

(別紙)

# 評価細目の第三者評価結果（保育所）

※すべての評価細目（48項目）について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

## 評価対象Ⅰ 福祉サービスの基本方針と組織

### I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
I-1-(1)-①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 理念、基本方針は法人ホームページに記載し、園内にも掲示されています。また、年度始めの事業計画にも記載され、職員会議等で周知が図られています。		

### I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
I-2-(1)-①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 法人は、市内の保育事業の中核を担っており、社会福祉業界全体の動向をはじめ、地域の福祉計画に関して行政と連携を図り、適切な事業経営に努めています。		
I-2-(1)-②	経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 役員会や理事会で法人全体の課題等を検討し園長会において情報共有と改善方針を検討しています。その方針を各職員に周知し、本部と連携しながら改善に取り組んでいます。		

### I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
I-3-(1)-①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 市の保育計画に基づいて関係各所と連携しながら実践しています。子どもの育てたい姿に向けて日々実践し、振り返りながら計画の評価・見直しを行っています。		
I-3-(1)-②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 中・長期計画の事業内容に沿って、具体的な方針内容を明示した単年度計画が策定されています。		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
I-3-(2)-①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	Ⓐ・b・c
〈コメント〉 職員会議や園内研修会等で話し合いをして、事業計画の実施状況について評価・分析し、今後の改善策や計画の見直しを行っています。		

I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	③・b・c
<コメント> 事業計画は園だよりや掲示版、保護者には「入園のしおり」を配布して、年間計画や保育目標の周知を図っています。また、各担当職員は、毎月の指導目標を設定して日々の保育に取り組んでいます。各保育室にも掲示しています。	

#### I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

	第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	
I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	③・b・c
<コメント> 園目標、自己目標、保育計画、行事記録などについて、定期的に反省・評価を行っています。自己評価は年に2回、行事後はその都度、反省・評価を行っています。	
I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	③・b・c
<コメント> 評価結果での課題について文書化し、非正規職員を含めた全職員で検討し改善に向けて取り組んでいます。	

### 評価対象Ⅱ 組織の運営管理

#### Ⅱ-1 管理者の責任とリーダーシップ

	第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	
Ⅱ-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	③・b・c
<コメント> 職務分担表では職員会議担当や行事担当など詳しく役割分担されています。その他、事務分担表、組織図も明文化され、年度初めに職員に説明、周知しています。	
Ⅱ-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	③・b・c
<コメント> 園長は、県社協や保育士協会などの外部研修へも積極的に参加し、職員への伝達や実践指導に取り組んでいます。	
Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	
Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	③・b・c
<コメント> 園長は、保育現場での課題を見つけ、年齢別会議や実践を通して分析し、職員の意見や思いを吸い上げながら保育の質向上に指導力を発揮しています。	
Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	③・b・c
<コメント> 法人本部で人事・労務・財務を一括管理していますが、園長は本部と常に連携した運営に努めています。園内では、職員の出勤スケジュールを確認し、臨時職員をうまく活用することで、日常保育が円滑に進むように管理しています。	

## II-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
	II-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>法人本部において、採用活動に取り組んでおり、就職フェア等のイベントには、園の職員も派遣しています。また、園独自に、ホームページでの募集、就職募集ポスターを地域に配布するなど、積極的に取り組んでいます。</p>		
	II-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・㉡・c
<p>〈コメント〉</p> <p>法人では、今年度の事業計画として、より明確な人事基準の策定を進めているところであり、今後の適正な運用を期待します。</p>		
II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
	II-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>残業、有給休暇の取得状況を勤怠システムで管理・把握しています。法人では、ストレスチェックや「心の相談窓口」の設置、「衛生委員会」を設けて職場の環境改善に取り組んでいます。また、養育記録ソフトを導入し、業務効率の向上を図っています。</p>		
II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
	II-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>職員は個人目標を設定し、中期・後期での見直しにより改善に努めています。園長や主任は、職員一人ひとりが目標に向けて無理なく取り組めるように、人材育成へのサポートに取り組んでいます。</p>		
	II-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>法人は、「研修の心得」「年間研修計画」を作成し、階層別研修や業務別研修など、計画的な運用により、専門性ある人材育成に積極的に取り組んでいます。</p>		
	II-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>オンライン研修や外部研修などの機会があるものの、コロナ禍により外部研修が少なくなっています。そのため、法人では福祉・人材育成・コーチング等、多くのメニューを揃えたeラーニングを導入。職員が意欲を持って参加できる機会を設けています。</p>		
II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
	II-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・㉢・c
<p>〈コメント〉</p> <p>「実習生受け入れマニュアル」があり、オリエンテーションの実施などの受け入れ体制が整っていますが、効果的な実習に繋がるプログラムの作成が望まれます。</p>		

## II-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
II-3-(1)-①	運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	㉠・b・c
〈コメント〉 ホームページ等で「理念」や「基本方針」「保育内容」の情報を公表しています。また、広報誌を地域の公民館や自治会、民生委員、老人会等に配布して、法人及び園の取り組みを伝えています。		
II-3-(1)-②	公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	㉠・b・c
〈コメント〉 法人では、内部監査の他、外部監査法人による監査を受けています。当園にも定期的に監査員が訪問し、実地の指導を受けています。		

## II-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
II-4-(1)-①	子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	㉠・b・c
〈コメント〉 コロナ禍の為、例年定期的に行っている地域交流は十分には行えていませんが、タイミングを見ながら、園主催の鬼行列で地域をねり歩いたり、毎日散歩に出かけるなど、少しでも地域と関わるようにしています。		
II-4-(1)-②	ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・㉡・c
〈コメント〉 読み聞かせなどのボランティアを受け入れています。が、「ボランティア等の受け入れマニュアル」が整備されていません。受け入れ時のトラブル防止のためにもマニュアル等を作成し、適切な受け入れ体制整備が望まれます。		
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
II-4-(2)-①	保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	㉠・b・c
〈コメント〉 「危機管理マニュアル」に「緊急時の連絡先リスト」記載し、すぐに確認できるように各保育室に設置しています。また、様々な機関と連携を図りながら、問題解決や改善に取り組んでいます。		
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
II-4-(3)-①	地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている	㉠・b・c
〈コメント〉 コロナ禍で、地域交流や関係機関との定例会が少なくなっています。園では「まちづくり協議会」（健康福祉部会）に協力して、健康測定などに職員を派遣するなど、地域との交流機会からニーズ把握に繋げています。		
II-4-(3)-②	地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	㉠・b・c
〈コメント〉 園の建物を災害時の避難場所として提供しています。法人では、地域の高齢者を対象とした「お買い物バス運行事業」の定期運行、梨ノ木診療所で「なしのき健康講座」の開催等、伊賀市全域における公益的な活動に取り組んでいます。		

## 評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

### Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>園長や職員は人権研修会に定期的に参加したり、全職員対象の園内研修も実施しています。また、人権に関する園の課題について全職員で話し合い、共通認識が持てるように努めています。子どもには「心育て」「からだ育て」に取り組んでいます。</p>		
	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a・㉡・c
<p>〈コメント〉</p> <p>職員アンケートから、職員のプライバシーに対する意識が高いことが伺えますが、プライバシー保護に関する規定やマニュアルを作成し、職員に改めて周知することを望みます。</p>		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>園では、ホームページを活用したリアルタイムの情報を提供しています。また、見学希望者に対しては各施設の概要や写真が掲載されたパンフレットを使い、丁寧な説明や対応を行っています。</p>		
	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>保育の開始にあたり「入園のしおり」で保育内容を詳しく説明しています。また、保育内容に変更がある場合は、その都度「掲示板」や「ICTシステム」を使い、情報発信し保護者に周知しています。</p>		
	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>児童票や児童要録などに記録し、法人内の保育所変更では引継ぎ文書を作成。その他の必要な場合には、保護者同意の上で継続的な保育が行われるように対応しています。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の向上に努めている。		
	Ⅲ-1-(3)-① 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・㉢・c
<p>〈コメント〉</p> <p>安心、安全に生活が送れるように保護者と連携をとり、1人ひとりの子どもに、暖かく関わりを持つように職員に伝えています。保護者との個別面談では、要望や悩み、相談等に耳を傾け、十分に応えるように努めていますが、更に、ニーズ把握ができる仕組みづくりを期待します。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉</p> <p>苦情解決の相談窓口を記載したポスターを、玄関の目につく場所に掲示しています。また、「苦情解決簿」を設け、受付から解決を図った経過内容を記録し、職員会議で情報共有しています。</p>		

Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	Ⓐ・b・c
<p>〈コメント〉 相談しやすいように、全幼児に「連絡ノート」配布して活用しています。また、相談があった場合には職員が時間を確保し、相談室を使用するなどの環境に配慮しています。</p>	
Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・Ⓑ・c
<p>〈コメント〉 保護者からの意見や相談には迅速に対応しています。しかし、意見箱やアンケート等の取り組みが不十分です。いろいろな方法で伝えやすい環境づくりを期待します。</p>	
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	
Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	Ⓐ・b・c
<p>〈コメント〉 「危機管理マニュアル」を作成し、「遊具点検」「施設安全点検等」は定期に実施しています。最近では「緊急連絡カード」(子どもの引き渡し)の見直しを実施し、「ヒヤリハット」「事故報告書」は全職員に周知し、共通理解に取り組んでいます。</p>	
Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	Ⓐ・b・c
<p>〈コメント〉 アレルギー、嘔吐時、新型コロナウイルス等の各種対応マニュアルを整備し、看護師2名が中心となって職員研修等を行っています。流行している感染症や発生状況を「掲示板」や「ほげんだより」で保護者に伝えています。</p>	
Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	Ⓐ・b・c
<p>〈コメント〉 「災害対応マニュアル」を整備し、毎月の避難訓練や、地域住民にも参加を呼びかけた、消防署員立ち合いの避難訓練も実施しています。「備蓄リスト」の食材を使った3日間の献立表ではアレルギー対応の献立も考慮されています。</p>	

### Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	
Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・Ⓑ・c
<p>〈コメント〉 保育の各場面で求められる、基本となる実施方法を文書化することで、職員の共通認識として理解する取り組みを期待します。</p>	
Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・Ⓑ・c
<p>〈コメント〉 法人内の保育園で公開保育を実施し、保育や環境について、自分の園を見直す機会としています。また、保育計画の見直し内容を、必要に応じて標準的な実施方法に反映することも必要です。</p>	

Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	
Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉 保護者のニーズを聞く機会を設けるとともに、気になる子どもには保健師と連携して確実なアセスメントに努めています。その内容に沿って、保育過程、全体的な計画に基づいて適切な指導計画の策定に努めています。</p>	
Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉 指導計画の評価・反省内容を職員間で情報共有し、より適切な保育方法を検討しています。月次計画についても家庭と連携して評価・反省して計画の見直しを行っています。</p>	
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。	
Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉 保育の実施記録は、養育記録ソフトに入力し情報共有しています。更に子ども全員の実施記録を紙ファイルとして職員室に整備することで、すぐに情報共有できるようにしています。また、記録の書き方については、その都度、園長や主任が指導しています。</p>	
Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉 子どもに関する記録は、個人情報保護規定等に準じて厳格に管理しています。また、個人情報の取り扱いについては十分注意して管理する様に指導しています。</p>	

## 評価対象Ⅳ 三重県独自基準

### Ⅳ-1 地域項目

	第三者評価結果
Ⅳ-1 地域に開かれた施設運営が適切に行われている。	
Ⅳ-1-① 子育て経験者との連携がとれている。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉 民生委員の来園や地域高齢者との日常的な触れ合う機会、園主催の祭りやイベント等に地域の方を招くなど、子育て経験者との接点を多く設けています。</p>	
Ⅳ-1-② 子供の安全確保について地域との相互協力体制の構築を行っている。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉 自治会とは定期的に連絡を取り合い、地区の会議にも職員が参加しています。また、緊急時の近隣住民との緊急連絡網を作成するなど、地域との協力体制の構築に普段から取り組んでいます。</p>	
Ⅳ-1-③ 地域の環境保護に貢献している。	㉠・b・c
<p>〈コメント〉 職員が地域の清掃活動に参加したり、園では、ごみの分別やアルミ缶の回収を行っています。また、廃材等を使った制作遊びを通し、資源について学んだり、ゴミの分別の仕方を子どもたちに伝えています。</p>	